

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する授業科目及び単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単位数	
教科に関する専門的事項	漢文学	中国文学史研究Ⅰ 中国文学史研究Ⅱ 中国文学史研究Ⅲ 中国文学史研究Ⅳ 漢文学基礎演習Ⅰ 漢文学基礎演習Ⅱ 中国文学研究Ⅰ 中国文学研究Ⅱ 中国文学研究Ⅲ 中国文学研究Ⅳ 漢文学研究Ⅰ 漢文学研究Ⅱ 漢文学研究Ⅲ 漢文学研究Ⅳ 中国文学基礎演習Ⅰ 中国文学基礎演習Ⅱ 中国文学演習Ⅰ 中国文学演習Ⅱ 中国文学演習Ⅲ 中国文学演習Ⅳ	2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 4 4 4 4 4 4	1科目選択必修
	書道（書写を中心とする。）	○書道	4	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ	2 2 2 2	中免は4科目すべて必修 高免は4科目から2科目 選択必修

注：授業科目名の前の○印は、免許状（国語）取得にとって、必修科目を表す。その他、履修方法については備考参照。

〔別表2〕

 中学校教諭及び高等学校教諭一種免許状（英語）取得に関する「教科専門等科目」
 （文学部 国際文化交流学科）

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する授業科目および単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	英語学	○英語学概論	2	4科目から2科目選択必修
		○英語史	2	
		○英語音声学演習	2	
		英語学研究Ⅰ	2	
		英語学研究Ⅱ	2	
		英語学研究Ⅲ	2	
	英語学研究Ⅳ	2		
	英語文学	◆イギリス言語文化史 a	2	
		◆イギリス言語文化史 b	2	
		◆アメリカ言語文化史 a	2	
◆アメリカ言語文化史 b		2		
英語圏文化表象概論		2		
イギリス文化表象研究		2		
アメリカ文化表象研究	2			
英語コミュニケーション	○英語コミュニケーション入門	2		
	○英語コミュニケーション演習	2		
	英語プレゼンテーション演習	2		
	アカデミック・ライティングⅠ	2		
	アカデミック・ライティングⅡ	2		
	メディア・イングリッシュa	2		
	メディア・イングリッシュb	2		
	英語で京都Ⅰ	2		
英語で京都Ⅱ	2			
異文化理解	○欧米の文化と社会Ⅰ	2		
	○欧米の文化と社会Ⅱ	2		
	○欧米から見た京都	2		
	日本欧米翻訳文化論	2		
国際文化交流研究	2			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	※英語科教育法Ⅰ ※英語科教育法Ⅱ ※英語科教育法Ⅲ ※英語科教育法Ⅳ	2 2 2 2	中免は4科目すべて必修 高免は4科目から2科目選択必修	

注：授業科目名の前の○印は、免許状（英語）取得にとって、必修科目を表す。◆印は、選択必修科目を表す。

※印は、中免では必修科目、高免では選択必修科目を表す。その他、履修方法については備考参照。

〔別表3〕

中学校教諭一種免許状（社会）取得に関する「教科専門等科目」
（文学部 歴史学科）

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する授業科目および単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○日本史概論	2	
		○東洋史概論	2	
		○西洋史概論	2	
		※文化史概論Ⅰ	2	
		日本美術史Ⅰ	2	
		日本美術史Ⅱ	2	
		日本建築史	2	
		日本史学研究Ⅰ	2	
		日本史学研究Ⅱ	2	
		日本史学研究Ⅲ	2	
		日本史学研究Ⅳ	2	
		日本文化史研究Ⅰ	2	
		日本文化史研究Ⅱ	2	
		日本史史料演習Ⅰ	2	
		日本史史料演習Ⅱ	2	
		日本古文書史料演習Ⅰ	2	
		日本古文書史料演習Ⅱ	2	
		日本古文書史料演習Ⅲ	2	
		日本古文書史料演習Ⅳ	2	
		日本史・日本文化史演習Ⅰ	2	
		日本史・日本文化史演習Ⅱ	2	
		日本史・日本文化史演習Ⅲ	2	
		日本史・日本文化史演習Ⅳ	2	
		※文化史概論Ⅱ	2	
		東洋史学研究Ⅰ	2	
		東洋史学研究Ⅱ	2	
		東洋文化史研究Ⅰ	2	
		東洋文化史研究Ⅱ	2	
		東洋美術史Ⅰ	2	
		東洋美術史Ⅱ	2	
		東洋史史料演習Ⅰ	2	
		東洋史史料演習Ⅱ	2	
		東洋文化史史料演習Ⅰ	2	
		東洋文化史史料演習Ⅱ	2	
		東洋史・東洋文化史演習Ⅰ	2	
		東洋史・東洋文化史演習Ⅱ	2	
		東洋史・東洋文化史演習Ⅲ	2	
		東洋史・東洋文化史演習Ⅳ	2	
		西洋史学研究Ⅰ	2	
		西洋史学研究Ⅱ	2	
		西洋文化史研究Ⅰ	2	
		西洋文化史研究Ⅱ	2	
		西洋美術史Ⅰ	2	
西洋美術史Ⅱ	2			
西洋史史料演習Ⅰ	2			
西洋史史料演習Ⅱ	2			
西洋史史料演習Ⅲ	2			
西洋史史料演習Ⅳ	2			

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する授業科目および単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	西洋文化史史料演習Ⅰ	2	
		西洋文化史史料演習Ⅱ	2	
		西洋史・西洋文化史演習Ⅰ	2	
		西洋史・西洋文化史演習Ⅱ	2	
		西洋史・西洋文化史演習Ⅲ	2	
		西洋史・西洋文化史演習Ⅳ	2	
		文化遺産学概論	2	
		東洋考古学概論	2	
		文化遺産マネジメント論	2	
		文化情報学	2	
		考古学概論	2	
		考古学研究	2	
		地域考古学Ⅰ	2	
		地域考古学Ⅱ	2	
		建築・都市史学研究	2	
		東洋考古学研究	2	
		文化的景観研究	2	
		民俗学概論Ⅰ	2	
		民俗学概論Ⅱ	2	
		文化情報学実習Ⅰ	2	
文化情報学実習Ⅱ	2			
建築史実習Ⅰ	2			
建築史実習Ⅱ	2			
文化遺産学文献演習	2			
考古学実習Ⅰ	2			
考古学実習Ⅱ	2			
文化財保存実習	1			
文化遺産学演習Ⅰ	2			
文化遺産学演習Ⅱ	2			
文化遺産学演習Ⅲ	2			
文化遺産学演習Ⅳ	2			
地理学（地誌を含む。）	○人文地理学 ○自然地理学 ○地誌学 歴史地理学 地理学実習Ⅰ 地理学実習Ⅱ	○人文地理学	2	
		○自然地理学	2	
		○地誌学	2	
		歴史地理学	2	
		地理学実習Ⅰ	2	
		地理学実習Ⅱ	2	
「法律学、政治学」	○法律学Ⅰ 法律学Ⅱ（国際法を含む） 政治学	○法律学Ⅰ	2	
		法律学Ⅱ（国際法を含む）	2	
		政治学	2	
「社会学、経済学」	社会学Ⅰ 経済学 社会学Ⅱ	社会学Ⅰ	2	} 1科目選択必修
		経済学	2	
		社会学Ⅱ	2	
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学Ⅰ 宗教学 哲学Ⅱ	哲学Ⅰ	2	} 1科目選択必修
		宗教学	2	
		哲学Ⅱ	2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○社会科・地歴科教育法Ⅰ ○社会科・地歴科教育法Ⅱ ○社会科・公民科教育法Ⅰ ○社会科・公民科教育法Ⅱ	○社会科・地歴科教育法Ⅰ	2	
		○社会科・地歴科教育法Ⅱ	2	
		○社会科・公民科教育法Ⅰ	2	
		○社会科・公民科教育法Ⅱ	2	

注：授業科目名の前の○印は、免許状（社会）取得にとって必修科目、※印は選択必修科目（1科目2単位以上必修）を表す。その他、履修方法については備考参照。

〔別表4〕

高等学校教諭一種免許状（地理歴史）取得に関する「教科専門等科目」

（文学部 歴史学科）

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する授業科目および単位数		備考		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数			
教科に関する専門的事項	日本史	○日本史概論	2			
		文化史概論Ⅰ	2			
		日本美術史Ⅰ	2			
		日本美術史Ⅱ	2			
		日本建築史	2			
		宗教史概論	2			
		日本史学研究Ⅰ	2			
		日本史学研究Ⅱ	2			
		日本史学研究Ⅲ	2			
		日本史学研究Ⅳ	2			
		日本文化史研究Ⅰ	2			
		日本文化史研究Ⅱ	2			
		日本史史料演習Ⅰ	2			
		日本史史料演習Ⅱ	2			
		日本古文書史料演習Ⅰ	2			
		日本古文書史料演習Ⅱ	2			
		日本古文書史料演習Ⅲ	2			
		日本古文書史料演習Ⅳ	2			
		日本史・日本文化史演習Ⅰ	2			
		日本史・日本文化史演習Ⅱ	2			
		日本史・日本文化史演習Ⅲ	2			
		日本史・日本文化史演習Ⅳ	2			
		文化遺産学概論	2			
		東洋考古学概論	2			
		文化遺産マネジメント論	2			
		文化情報学	2			
		考古学概論	2			
		考古学研究	2			
		地域考古学Ⅰ	2			
		地域考古学Ⅱ	2			
		建築・都市史学研究	2			
		文化的景観研究	2			
		民俗学概論Ⅰ	2			
		民俗学概論Ⅱ	2			
		文化情報学実習Ⅰ	2			
		文化情報学実習Ⅱ	2			
		建築史実習Ⅰ	2			
		建築史実習Ⅱ	2			
		文化遺産学文献演習	2			
		考古学実習Ⅰ	2			
		考古学実習Ⅱ	2			
		文化財保存実習	1			
				○東洋史概論	2	
				○西洋史概論	2	
				文化史概論Ⅱ	2	
				東洋史学研究Ⅰ	2	
				東洋史学研究Ⅱ	2	
		東洋文化史研究Ⅰ	2			
		東洋文化史研究Ⅱ	2			
		東洋美術史Ⅰ	2			
		東洋美術史Ⅱ	2			
		東洋史史料演習Ⅰ	2			
		東洋史史料演習Ⅱ	2			
	外国史					

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する授業科目および単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	外国史	東洋文化史史料演習Ⅰ	2	
		東洋文化史史料演習Ⅱ	2	
		東洋史・東洋文化史演習Ⅰ	2	
		東洋史・東洋文化史演習Ⅱ	2	
		東洋史・東洋文化史演習Ⅲ	2	
		東洋史・東洋文化史演習Ⅳ	2	
		西洋史学研究Ⅰ	2	
		西洋史学研究Ⅱ	2	
		西洋文化史研究Ⅰ	2	
		西洋文化史研究Ⅱ	2	
		西洋美術史Ⅰ	2	
		西洋美術史Ⅱ	2	
		西洋史史料演習Ⅰ	2	
		西洋史史料演習Ⅱ	2	
		西洋史史料演習Ⅲ	2	
		西洋史史料演習Ⅳ	2	
		西洋文化史史料演習Ⅰ	2	
		西洋文化史史料演習Ⅱ	2	
		西洋史・西洋文化史演習Ⅰ	2	
		西洋史・西洋文化史演習Ⅱ	2	
西洋史・西洋文化史演習Ⅲ	2			
西洋史・西洋文化史演習Ⅳ	2			
東洋考古学研究	2			
文化遺産学演習Ⅰ	2			
文化遺産学演習Ⅱ	2			
文化遺産学演習Ⅲ	2			
文化遺産学演習Ⅳ	2			
人文地理学・自然地理学		○人文地理学	2	
		○自然地理学	2	
		歴史地理学	2	
		地理学実習Ⅰ	2	
		地理学実習Ⅱ	2	
地誌		○地誌学	2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		社会科・地歴科教育法Ⅰ	2	1科目選択必修
		社会科・地歴科教育法Ⅱ	2	
		○地歴科教育法	2	

注：授業科目名の前の○印は、免許状（地理歴史）取得にとって、必修科目を表す。その他、履修方法については備考参照。

〔別表5〕

公共政策学科における、中学校教諭一種免許状（社会）取得に関する「教科専門等科目」

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する授業科目および単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○日本史 ○東洋史 ○西洋史	2 2 2	
	地理学（地誌を含む。）	○人文地理 ○自然地理 ○地誌	2 2 2	
	「法学、政治学」	○法学概論Ⅰ ○政治学概論 法律学概論Ⅱ（国際法を含む） 市民参加論 現代社会と公共性 公共政策概論Ⅰ（政策原論） 公共政策概論Ⅱ（政策規範） 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ 行政法Ⅲ（行政救済法） 民法総則 労働法Ⅰ 労働法Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	「社会学、経済学」	経済学概論 社会学概論Ⅰ 経済政策論 マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 社会政策論 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 地方財政論 環境経済学 社会学概論Ⅱ 地域社会論 福祉社会論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1科目選択必修
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論Ⅰ 倫理学Ⅰ 哲学概論Ⅱ 倫理学Ⅱ	2 2 2 2	1科目選択必修
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○社会科・地歴科教育法Ⅰ ○社会科・地歴科教育法Ⅱ ○社会科・公民科教育法Ⅰ ○社会科・公民科教育法Ⅱ	2 2 2 2	

注）授業科目名の中の○印は、免許状（社会）取得にとって必修科目であることを表す。その他、履修方法については備考参照。

〔別表6〕

公共政策学科における、高等学校教諭一種免許状（公民）取得に関する「教科専門等科目」

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する授業科目および単位数		備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		
教科に関する専門的事項	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	○法律学概論Ⅰ ○法律学概論Ⅱ(国際法を含む) ○政治学概論 市民参加論 現代社会と公共性 公共政策概論Ⅰ(政策原論) 公共政策概論Ⅱ(政策規範) 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ 行政法Ⅲ(行政救済法) 民法総則 労働法Ⅰ 労働法Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 2科目から2科目選択必修	
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	○経済学概論 ○社会学概論Ⅰ 経済政策論 マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 社会政策論 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 地方財政論 環境経済学 社会学概論Ⅱ 地域社会学 家族社会学 社会病理学Ⅰ 社会病理学Ⅱ 環境社会学 福祉社会学論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 5科目から1科目選択必修 (福祉社会学科) (福祉社会学科) (福祉社会学科)
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論Ⅰ 倫理学Ⅰ 心理学概論Ⅰ 哲学概論Ⅱ 倫理学Ⅱ 心理学概論Ⅱ	2 2 2 2 2 2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ ○公民科教育法	2 2 2	2科目から1科目選択必修		

注) 授業科目名の前の○印は、免許状（公民）取得にとって必修科目であることを表す。その他、履修方法については備考参照。

〔別表 7〕

福祉社会学科における、高等学校教諭一種免許状（福祉）取得に関する「教科専門等科目」

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する授業科目および単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	社会福祉学（職業指導を含む。）	○社会福祉概論 ○社会福祉原論 ○ソーシャルワークの基盤と専門職 地域福祉論 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 権利擁護を支える法制度	2 2 2 2 2 2 2	職業指導を含む
	高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉	○高齢者福祉論 ○児童福祉論 ○障害者福祉論 社会的養護実践論 保健医療と福祉 公的扶助論 刑事司法と福祉	2 2 2 2 2 2 2	
	社会福祉援助技術	○ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ○ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ○ソーシャルワークの理論と方法（社会福祉） ○ソーシャルワークの基盤と専門職（社会福祉） コミュニティワーク 社会調査	2 2 2 2 2 2	
	介護理論・介護技術	○介護概論 ○ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（社会福祉） ○ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（社会福祉） ○ソーシャルワーク実習指導Ⅲ（社会福祉）	2 2 2 2	
	社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	○ソーシャルワーク演習Ⅰ（社会福祉） ○ソーシャルワーク演習Ⅱ（社会福祉） ○ソーシャルワーク実習Ⅰ（社会福祉） ○ソーシャルワーク実習Ⅱ（社会福祉） ○基礎演習（社会福祉）	4 4 2 4 2	
	人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解	○人体構造と生活行動	1	
	加齢に関する理解・障害に関する理解	○加齢と障害	1	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○福祉科教育法Ⅰ ○福祉科教育法Ⅱ	2 2	

注：授業科目名の前の○印は、免許状（福祉）取得にとって必修科目であることを表す。

〔別表 8〕

農学生命科学科における、中学校教諭及び高等学校教諭一種免許状（理科）
取得に関する「教科専門等科目」

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数		備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	物理学	○基礎物理学 ○剛体の力学	2 2	中一種免の場合は、4科目すべて必修。高一種免の場合は、4科目から1科目選択必修。
	化学	○基礎化学Ⅰ ○基礎化学Ⅱ ○生化学Ⅰ ○物理化学 ○高分子化学	2 2 2 2 2	
	生物学	○基礎生物学Ⅰ ○基礎生物学Ⅱ ○遺伝学 ○植物生理学 ○植物病害管理学 ○遺伝子工学	2 2 2 2 2 2	
	地学	○基礎地学Ⅰ ○基礎地学Ⅱ	2 2	
	「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」	○物理学実験及び同実験法 ○化学実験及び同実験法 ○生物学実験及び同実験法 ○地学実験及び同実験法	2 2 2 2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		○理科教育法Ⅰ ○理科教育法Ⅱ ○理科教育法Ⅲ ○理科教育法Ⅳ	2 2 2 2	中一種免の場合は、4科目すべて必修。高一種免の場合は、4科目から2科目選択必修。

注）授業科目名の前の○印は、免許状（理科）取得にとって必修科目であることを表す。

〔別表 9〕

農学生命科学科における、高等学校教諭一種免許状（農業）取得に関する「教科専門等科目」

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数		備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	農業の関係科目	○生命環境学概論	2	(森林科学科)
		○作物学	2	
		○農業技術論	2	
		○植物育種学	2	
		○果樹園芸学 ○持続型果樹園芸学	2 2	
		○野菜園芸学 ○花卉園芸学	2 2	
		○植物病理学	2	
		○応用昆虫学	2	
		○動物衛生学Ⅰ	2	
		○農業経営学 ○農業と食料の経済学 ○土壌環境学	2 2 2	
○植物生産科学基礎実習及び同実習法	2			
○生物統計学	2			
○溪流水理学	2			
○農学原論	2			
職業指導	○職業指導	2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		○農業科教育法Ⅰ ○農業科教育法Ⅱ	2 2	

注）授業科目名の前の○印は、免許状（農業）取得にとって必修科目であることを表す。

〔別表10〕

生命化学科における、中学校教諭及び高等学校教諭一種免許状（理科）
取得に関する「教科専門等科目」

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数		備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	物理学	○基礎物理学 ○剛体の力学	2 2	
	化学	○基礎化学Ⅰ ○基礎化学Ⅱ 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 物理化学 生化学Ⅰ 高分子化学	2 2 2 2 2 2 2	
	生物学	○基礎生物学Ⅰ ○基礎生物学Ⅱ 分子栄養学Ⅱ 遺伝子工学 植物生理学	2 2 2 2 2	
	地学	○基礎地学Ⅰ ○基礎地学Ⅱ	2 2	
	「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」	○物理学実験及び同実験法 ○化学実験及び同実験法 ○生物学実験及び同実験法 ○地学実験及び同実験法	2 2 2 2	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○理科教育法Ⅰ ○理科教育法Ⅱ ○理科教育法Ⅲ ○理科教育法Ⅳ	2 2 2 2	

注) 授業科目名の前の○印は、免許状（理科）取得にとって必修科目であることを表す。

〔別表 1 1〕

理工情報学科における、中学校教諭及び高等学校教諭一種免許状（理科）
取得に関する「教科専門等科目」

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数		備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	物理学	○基礎物理学	2	※ 1
		○剛体の力学	2	
	基礎エレクトロニクス	2		
	量子力学入門	2		
	化学	○基礎化学	2	※ 1
○無機化学		2		
有機化学Ⅰ		2		
有機化学Ⅱ		2		
高分子化学	2			
生物学	○基礎生物学	2	※ 1	
	○生化学基礎	2		
	植物環境応答論	2		
	植物分子生理学	2		
バイオテクノロジー	2			
地学	○基礎地学Ⅰ	2		
	○基礎地学Ⅱ	2		
「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」	○物理学実験及び同実験法	2	中一種免の場合は、4科目すべて必修。高一種免の場合は、4科目から1科目選択必修。	
	○化学実験及び同実験法	2		
	○生物学実験及び同実験法	2		
	○地学実験及び同実験法	2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○理科教育法Ⅰ	2	中一種免の場合は、4科目すべて必修。高一種免の場合は、4科目から2科目選択必修。	
	○理科教育法Ⅱ	2		
	○理科教育法Ⅲ	2		
	○理科教育法Ⅳ	2		

注) 授業科目名の前の○印は、免許状（理科）取得にとって必修科目であることを表す。

〔別表 1 2〕

理工情報学科における、高等学校教諭一種免許状（情報）
取得に関する「教科専門等科目」

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数		備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	情報社会(職業に関する内容を含む。)・情報倫理	○情報社会論	2	
		○情報インターンシップ	1	
	コンピュータ・情報処理	○プログラミング	2	
		○プログラミング演習	2	
		○情報実験	2	
		○計算機通論	2	
		コンピュータアーキテクチャ	2	
		○情報処理概論	2	
		○情報機器論	2	
		複素・フーリエ解析演習	2	
	数値解析学	2		
	データ構造とアルゴリズム	2		
	情報システム	○情報システム論	2	
		データ基礎論	2	
		データベース入門	2	
地理情報科学		2		
情報通信ネットワーク	○情報伝達論	2		
	知能情報処理	2		
マルチメディア表現・マルチメディア技術	○マルチメディア論	2		
	リモートセンシング論	2		
	デジタルデザイン論	2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○情報科教育法Ⅰ	2		
	○情報科教育法Ⅱ	2		

注) 授業科目名の前の○印は、免許状（情報）取得にとって必修科目であることを表す。

〔別表 1 3〕

森林科学科における、中学校教諭及び高等学校教諭一種免許状（理科）
取得に関する「教科専門等科目」

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数		備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	物理学	○基礎物理学 ○剛体の力学 木材物理学 材料力学	2 2 2 2	
	化学	○基礎化学Ⅰ ○基礎化学Ⅱ 木材化学 森林資源循環学	2 2 2 2	
	生物学	○基礎生物学Ⅰ ○基礎生物学Ⅱ 森林保護学 ○森林植物学 遺伝学 ○木材組織学	2 2 2 2 2 2	
	地学	○基礎地学Ⅰ ○基礎地学Ⅱ	2 2	
	「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」	○物理学実験及び同実験法 ○化学実験及び同実験法 ○生物学実験及び同実験法 ○地学実験及び同実験法	2 2 2 2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		○理科教育法Ⅰ ○理科教育法Ⅱ ○理科教育法Ⅲ ○理科教育法Ⅳ	2 2 2 2	中一種免の場合は、4科目すべて必修。高一種免の場合は、4科目から2科目選択必修。

注) 授業科目名の前の○印は、免許状（理科）取得にとって必修科目であることを表す。

〔別表 1 4〕

森林科学科における、高等学校教諭一種免許状（農業）取得に関する「教科専門等科目」

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数		備 考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	農業の関係科目	○生命環境学概論	2	(農学生命科学科) (農学生命科学科)
		○野菜園芸学	2	
		植物病理学	2	
		○森林計画学	2	
		○渓流水理学	2	
		○木質資源利用化学	2	
		森林資源育成学	2	
		森林計測学	2	
		物質循環学	2	
		○生物統計学	2	
		森林作業システム学	2	
		○林政学	2	
		土壌環境学	2	
		植物栄養学	2	
		○測量学	2	
		地理情報科学	2	
	測量学実習	2		
○森林土木学	2			
植物生産科学基礎実習及び同実習法	2			
持続型果樹園芸学	2			
○農業経営学	2			
○作物学	2			
○農学原論	2			
職業指導	○職業指導	2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		○農業科教育法Ⅰ ○農業科教育法Ⅱ	2 2	

注) 授業科目名の前の○印は、免許状（農業）取得にとって必修科目であることを表す。

〔別表15〕

中学校教諭及び高等学校教諭一種免許状取得に関する「大学が独自に設定する科目」（全学共通）

科目区分	授業科目	配当年次	単位数	備考
設大 定学 する 独 科 自 目 に	教職インターンシップ	3	2	
	介護等体験活動	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校一種免許状取得上、必修である。 ・介護等体験は、実施する予定年度の前年度に大学に対して申し込む必要がある。 ・募集時期は秋以降、大学HP等で通知する。

注) どちらも参加前に、履修ガイダンスを必ず受講すること。また、「教職インターンシップ」の参加者については、「教育実習生選考要件」に準じて選考する。

〔別表16〕

栄養科学科における、栄養教諭一種免許状取得に関する「栄養に係る教育に関する科目」

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	左記に対応する授業科目及び単位数		備考
		授業科目	単位数	
栄 養 に 係 る 教 育 に 関 する 科 目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	学校栄養教育実践論Ⅰ	2	栄養教諭一種免許状取得にとって、2科目4単位を必ず修得しなければならない。
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項			
	食生活に関する歴史的及び文化的事項	学校栄養教育実践論Ⅱ	2	
食に関する指導の方法に関する事項				

〔別表17〕

本学における、教員免許状種別毎の必要最低修得単位数

	教養教育科目 (注1)	教職関連科目(注2)				総計
		教科専門等科目	教職基礎等科目	大学が独自に設定する科目	合計	
中学校教諭一種免許状	英語D(1)(2)	28単位以上(注3)	29単位以上(注4)	(注5)	59単位以上	67単位以上
高等学校教諭一種免許状	日本国憲法 情報処理基礎演習 スポーツ実習Ⅰ、Ⅱ	24単位以上(注3)	25単位以上(注4)		59単位以上	67単位以上
栄養教諭一種免許状	(計8単位)	4単位(栄養に係る教育に関する科目)	26単位以上	—	30単位以上	38単位以上

(注1) いずれの一種免許状取得においても、「教職関連科目」以外に、「教養教育科目」の中で指定された科目8単位を修得しなければならない。

(注2) 中学校、高等学校の一種免許状取得には、最低修得単位を超えて履修した「教科専門等科目」と「教職基礎等科目」と、「大学が独自に設定する科目」を合わせて、計59単位以上修得しなければならない。栄養教諭一種免許状取得には、「栄養に係る教育に関する科目」4単位と、「教職基礎等科目」26単位以上を合わせて、計30単位以上修得しなければならない。

(注3) 「教科専門等科目」は、教科ごとに必修科目(選択必修科目を含む)を設定することから、上記以上の単位を修得しなければならない場合があるので、よく注意すること。「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用等を含む。)」については、中学校では4科目8単位、高校では2科目4単位を必ず修得する必要がある。

(注4) 「教職基礎等科目」の「道徳の理論と教育」は、中学校教諭一種免許状取得にとって必修科目である。しかし、高等学校教諭一種免許状取得には用いることができないので、よく注意すること。

(注5) 「介護等体験活動」は、中学校教諭一種免許状取得にとって必修科目である。

〔別表18〕

中学校及び高等学校の一種免許状取得にかかる「教職基礎等科目」(全学共通)

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次 単位数	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学原論	1 2	①「教育学原論」(2単位)、②「教育学概論Ⅰ」と「教育学概論Ⅱ」(計4単位)のうち、①②のいずれか選択必修 ・「生涯学習論Ⅰ」「生涯学習論Ⅱ」は、福祉社会学科のみ1回生配当、それ以外の学科は2回生配当
		教育学概論Ⅰ※	2 2	
		教育学概論Ⅱ※	2 2	
		生涯学習論Ⅰ※	1/2 2	
		生涯学習論Ⅱ※	1/2 2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	現代教職論	1 ②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学※	2 2	①「教育社会学」(2単位)、②「教育行政学」(2単位)、③「教育制度論Ⅰ」と「教育制度論Ⅱ」(計4単位)のうち、①～③のいずれか選択必修 隔年開講
		教育行政学※	2 2	
		教育制度論Ⅰ※	3 2	
		教育制度論Ⅱ※	3 2	
社会教育特講Ⅰ※		2 2		
社会教育特講Ⅱ※		2 2		
社会教育経営論Ⅰ※		2・3 2		
社会教育経営論Ⅱ※		2・3 2		
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学A	1 2	いずれか1科目選択必修	
	教育心理学B	1 2		
	発達心理学Ⅰ※	3 2		
	発達心理学Ⅱ※	3 2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	2 ②		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2 ②		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論と教育	1 ②	中免のみ必修(高免単位算入不可)
	総合的な学習の時間の指導法(中学校)／総合的な探究の時間の指導法(高等学校)	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2 ②	
	特別活動の指導法			
	教育の方法及び技術	教育方法論A(ICT活用を含む)	2 2	いずれか1科目選択必修
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論B(ICT活用を含む)	2 2	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	2 ②	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談論	2 ②		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	3~4 5	事前事後指導1単位を含む。
		教育実習Ⅱ	3~4 3	事前事後指導1単位を含む。
		教育実習Ⅲ	3~4 2	事前事後指導1単位を含む。
	学校体験活動	学校インターン	3 2	
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4 ②		

注1) 一種免許状取得には、「教職基礎等科目」の必修、選択必修科目を合わせて、中学校29単位以上、高校25単位以上必要である。なお、「道徳の理論と教育」は中学校免許状取得上は必修であるが、高校免許状取得に用いることはできない。

注2) 単位数が○印の科目は、免許状取得にとって必修科目であることを示している。また、科目名の後に※印が付された科目は公共政策学部福祉社会学科開設の専門教育科目である。履修方法については、備考を参照すること。

注3) 教養教育科目の展開教育科目は、教育職員免許状取得に用いることはできない。

注4) 「教育実習」「学校インターン」の履修方法は、次の通り。

ア) 中学免許のみ取得予定者、または中学・高校免許状両方の取得予定者のうち、「学校インターン」を履修しない場合は「教育実習Ⅰ」が必修。(教育実習期間は原則3週間)

イ) 中学免許のみ取得予定者、または中学・高校免許状両方の取得予定者のうち、「学校インターン」を履修する場合は「教育実習Ⅱ」を履修。また、高校免許のみ取得予定者のうち、「学校インターン」を履修しない場合は「教育実習Ⅱ」を履修。(教育実習期間は原則2週間)

ただし、教育実習期間が3週間となる場合には、「教育実習Ⅰ」を履修すること。

ウ) 「教育実習Ⅲ」を履修することができるのは、高校免許のみ取得予定者のうち、「学校インターン」を履修する場合に限られる。

なお、「教育実習」については、ⅠからⅢのいずれかを履修するものとする。

また、教育実習の期間については、予定先である中学・高校等との相談・調整により決定される。

〔教育実習生選考要件〕

- 1) 教員になる意思のある者
- 2) 健康で、2～3週間の教育実習に耐えうると認められる者
- 3) 教育実習を除く「教職基礎等科目」のうち8単位以上修得済みで、かつ教育実習実施段階において、配当済み又は配当中の「教職基礎等科目」をすべて履修済み又は履修中の者
- 4) 教育実習に向けた事前指導に全回出席した者

〔別表19〕

栄養教諭一種免許状取得にかかる「教職基礎等科目」(栄養科学科)

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次 単位数	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学原論	1 2	①「教育学原論」(2単位)、②「教育学概論Ⅰ」と「教育学概論Ⅱ」(計4単位)のうち、①②のいずれか選択必修 ・「生涯学習Ⅰ」「生涯学習Ⅱ」は、福祉社会科学のみ1回生配当、それ以外の学科は2回生配当
		教育学概論Ⅰ※	2 2	
		教育学概論Ⅱ※	2 2	
		生涯学習Ⅰ※	1/2 2	
		生涯学習Ⅱ※	1/2 2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	現代教職論	1 ②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学※ 教育行政学※ 教育制度論Ⅰ※ 教育制度論Ⅱ※ 社会教育特講Ⅰ※ 社会教育特講Ⅱ※ 社会教育経営論Ⅰ※ 社会教育経営論Ⅱ※ 教育福祉論※ 生活教育論Ⅰ※ 生活教育論Ⅱ※	2 2 2 2 3 2 3 2 2 2 2 2 2・3 2 2・3 2 3 2 3 2 3 2	①「教育社会学」(2単位)、②「教育行政学」(2単位)、③「教育制度論Ⅰ」と「教育制度論Ⅱ」(計4単位)のうち、①～③のいずれか選択必修 隔年開講
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学A 教育心理学B 発達心理学Ⅰ※ 発達心理学Ⅱ※	1 2 1 2 3 2 3 2	いずれか1科目選択必修	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	2 ②		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2 ②		
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	道徳の理論と教育 特別活動・総合的な学習の時間の指導法	1 ② 2 ②	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論A(ICT活用を含む) 教育方法論B(ICT活用を含む)	2 2 2 2	いずれか1科目選択必修
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論	2 ②	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談論	2 ②	
教育実践に関する科目	栄養教育実習	栄養教育実習	3~4 ②	事前事後指導を含む。
	教職実践演習	教職実践演習(栄養教諭)	4 ②	

注1) 栄養教諭一種免許状取得には、「教職基礎等科目」の必修、選択必修科目を合わせて、26単位以上必要である。

注2) 単位数が○印の科目は、栄養教諭免許状取得にとって必修科目であることを示している。また、科目名の後に※印が付された科目は公共政策学部福祉社会科学科開設の専門教育科目である。履修方法については、備考を参照すること。

注3) 教養教育科目の展開教育科目は、教育職員免許状取得に用いることはできない。

〔栄養教育実習生選考要件〕

- (1) 栄養教諭になる意思のある者
- (2) 健康で、1週間の栄養教育実習に耐えうると認められる者
- (3) 栄養教育実習を除く「教職基礎等科目」のうち8単位以上修得済みで、かつ、同実習実施段階において、配当済み又は配当中の「教職基礎等科目」をすべて履修済み又は履修中の者
- (4) 栄養教育実習に向けた事前指導に全回出席した者